

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんかかしざ 有限会社 劇団かかし座		
代表者職・氏名	代表取締役 後藤 圭		
制作団体所在地	〒 224-0026		
	神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1		
電話番号	045-592-8111	FAX番号	045-592-8458
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんかかしざ 有限会社 劇団かかし座		
代表者職・氏名	代表取締役 後藤 圭		
公演団体所在地	〒 224-0026		
	神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1		
制作団体 設立年月	1952年 7月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 後藤 圭 取締役 飯田周一 石井世紀 西垣勝 山下義文	団体構成員及 計22名 加入条件:劇団の行う選考に合格すること	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	西垣勝
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	井上かおる

制作団体沿革	1952年、日本最初の現代影絵専門劇団として創立。53年、NHK 専属劇団となる。59年、会社法人(有限会社)設立。64年、学校公演を開始。73年、NHK特別番組「竹取物語」を制作。(モンテカルロ国際TV 映画祭優秀作品)。以後、様々なTV 局を通じて影絵作品を制作・放映。84年、東京から横浜市に本拠を移し、以後今日まで児童劇作品を中心に制作・上演。07年、第1回アジア児童青少年演劇フェスティバル参加。09年、岐阜県下呂市より委託を受け、影絵昔話館「しらさぎ座」の常設公演開始。(19年終了)。09年、手影絵作品でドイツ国際影絵フェスティバルに参加。以降、毎年国際フェスティバルに招聘され、現在までに24カ国34都市で公演参加。19年3月、韓国の人形劇団Art Stage SANと合同企画「ごめんね、ありがとう！るる島の秘密」を制作し、東京・横浜で初演。8～9月に韓国各都市で上演。21年8月、「ふしぎの国のアリス」を制作し、横浜で初演予定。			
学校等における公演実績	昭和39年 学校公演を開始。令和元年度は年間378日の公演の内、141日を国内の小中学校で実施。その他、公立文化ホールにて、教育委員会や文化ホール指定管理者等主催の児童生徒の団体鑑賞公演を実施している。 今日までに制作した舞台作品は50を超え、平成24年に「魔法つかいのおとぎばなし」、平成25年に「宝島」が厚生労働省社会保障審議会・特別推薦児童福祉文化財を受賞。他、東京都優秀児童演劇選定優秀賞、厚生労働省社会保障審議会・推薦児童福祉文化財など、受賞作品多数。 【近年の小・中・特別学校での上演実績】(文化庁事業を含む) 令和2年度 全118公演 うち「Wonder Shadow Labo」27公演、「三枚のおふだ」21公演			
特別支援学校における公演実績	(文化庁事業を含む) 平成23年度4校、平成24年度2校、平成25年度3校、平成26年度2校、平成27年度1校、平成28年度4校、 平成29年度 「三枚のおふだ」1公演、「長靴をはいたねこ」2公演、他1公演 平成30年度 「Wonder Shadow Labo」2公演、「長靴をはいたねこ」1公演、「三枚のおふだ」1公演(大田区立小・中学校特別支援学級合同鑑賞) 令和元年度 「Wonder Shadow Labo」2公演、「長靴をはいたねこ」1公演 令和2年度 特別支援学校での公演は実施無し			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=gTVbUF0czVQ&list=PLC0MGJlv2t	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】

対象	○	小学生(低学年)	-	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	Wonder Shadow Labo (よみ)ワンダー シャドウ ラボ					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「Wonder Shadow Labo」(ワンダー シャドウ ラボ) 脚本・構成・演出/後藤圭、「シェトの冒険」台本/若林一郎、 児童参加プラン/太宰久夫・後藤圭、舞台美術/齊藤浩樹 音楽/石川洋光、衣裳/中矢恵子、共演児童衣裳・小林巨和、 振付/楠原竜也、児童参加部分の振付/神崎由布子 音響/山北史郎(山北舞台音響)、照明/坂本義美(龍前舞台照明研究所)、 影絵美術監修/後藤圭 影絵美術/劇団かかし座美術部、小田純治、小島直子、とうたいよう					
著作権	○	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する 事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	『Wonder Shadow Labo』は、平成27年度文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業」で文化ホール上演作品として制作・上演した『Wonder Shadow』を、学校でも上演可能な作品として改編したものです。影絵表現の仕組みと面白さ、不思議さを影絵実験ショーとして上演します。実験室を模した舞台セットの中、俳優たちは日々影絵の研究に取り組む博士と研究員(Dr.シャドウ)に扮し、作品は進行していきます。Part1～3の3部構成となっており、Part1,2ではDr.シャドウたちが身近な素材や自分の身体で様々な影絵表現ができることを実験を通して提示し、Part3ではDr.シャドウたちがそれら影絵表現を用いてお話を上演する劇中劇になっています。特 にPart3の「シェトの冒険」は美しい影絵と数々の音楽・歌が合わさり、かかし座オリジナル、ミュージカル仕立ての楽しい演劇作品になっています。【別添あり①】					
演目選択理由	『Wonder Shadow Labo』は、平成30年4月の初演以来、令和3年7月まで、小学校・特別支援学校を中心に約250ステージ上演しました。影絵劇においてはスクリーン裏側にあって観客からは見ることのできない表現の仕組みを公開するという斬新な作品スタイルと、そこでの様々な工夫と芸術性が大変高い評価を得ています。子どもたちは影の特性を利用した表現を鑑賞・体験することで、発想力、表現力を豊かにします。また、どんな困難にも負けず自分を信じて立ち向かい、諦めていた村人のやる気を起こし、自分たちの村を再生するシェトの姿は、子どもたちの心に深く残り、成長の糧となるでしょう。美しい影絵、大掛かりな舞台装置や役者の熱演を間近で観たり感じたりする体験は、思わず体から溢れる感動となり、将来の芸術家の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると考えます。また 令和2年度・3年度(7月まで)の巡回公演でも大変ご好評いただいた事も演目選択理由の一つとなります。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【A】『玉人形ショーの上演』・【B】『Hand Shadow Showの上演』・【C】『台詞(シェト応援隊)での共演』・【D】『合唱での共演』・【E】『妖精たち(台詞とダンス)による共演』・【F】『エンディングでの全員参加』 ※A～Eの各チームに参加分けすることにより、相当数の児童の参加が見込まれます。またFで全児童の歌とダンスの参加体験が可能となります。 ※結果、観客児童と俳優とによる参加型お芝居が成立し、芝居に参加した達成感と充実感を共有できます。 ※学校の希望次第で、A～Fの一部を実施することも可能です。参加する学年や人数についても、学校の状況に合わせますのでご相談ください。 【別添あり③～⑧】					
出演者	石井世紀・梅原千尋・小林真利子・本望晴香					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 4 名 スタッフ: 5 名 合 計: 9 名			機材等 運搬方法 積載量: 1 t 車 長: 5.4 m 台 数: 2 台		

【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	7時30分	7時30分～10時30分	13時30～15時	10分	15時～17時	18時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		最大50名程度(A～E各10名程度)			
	本公演		全員参加のシーン有り			
ワークショップ 実施形態及び内容	【導入】・影絵の体験学習。【A】・玉人形チーム:玉人形の製作とショーの構成。【B】・手影絵ショーチーム:手影絵の学習とショーの構成。【C】・台詞&歌&ダンス(シェト応援隊)チーム:台詞の練習。【D】・合唱チーム:劇中歌の練習。【E】・妖精チーム:台詞とダンスの練習。【F】・全員参加シーン:歌・ダンスの練習。 【別添あり②】					
ワークショップ 実施形態の意図	日常では絶対に体験出来ない、かかし座独自の影絵を体験してもらう事は勿論、台詞や歌・ダンスを練習し、人前で演じる難しさや緊張感・達成感を味わってもらいます。また、人前に出るのが難しい児童には、影絵人形(玉人形)を製作してもらい、自分で作ったオリジナルの影絵人形をスクリーンに映してもらい自分で作った喜びを感じてもらいます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	基本的には内容を大幅に変えることなく実施したいと考えておりますが、Part1～2は上演内容の一部カットが可能な作品なので、上演時間の短縮は可能です。 子どもたちの希望や先生方の意向を汲みつつ、先生方と相談のうえ、児童・生徒の実態に合わせたワークショップや共演内容をご提案します。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社 劇団かかし座	】
演目概要	【Part1】 Dr.シャドウの影絵ラボ 30分 ちょっと頼りない博士とDr.シャドウたちが、秘密の実験室で繰り広げる楽しい影絵実験ショー。ボールやハンカチ、積み木から不思議な影が次から次へ現れる！皆がやってみたくなるワクワクドキドキの実験ショーです。 【Part2】 Hand Shadow Show上演 10分 手と体だけでいろいろな動物の影を紡ぎ出してみせる、劇団かかし座得意の「Hand Shadow Show」。世界中のフェスティバルやTV番組でも大人気のパフォーマンスです。かかし座と合わせ、事前ワークショップで指導した児童による上演も行います。 【休憩10分】 【Part3】 影絵劇「シェトの冒険」上演 40分 お話を作った博士は、Part1,2の手法を用いてDr.シャドウたちとお話ごっこを始めます。 [あらすじ]遠い遠いどこかの国で、雨が降らずに困っている村があった。そこには何とかして村人の役に立とうとする勇気のある少年がいた。名前はシェト。 シェトは村の古くからの言い伝えを信じ、雨を降らせるドラゴンを探す旅に出る。途中、小人や妖精を助けたシェトは、彼らから様々な助けを得る。しかしその旅は困難の連続で…。			

リンク先	No.3	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
ワークショップ 実施形態及び内容	【導入 影絵の体験学習】 ○光源に対する角度によって影の形が変わったり、光源からの距離によって影が大きくなったり小さくなったりすることを実践しつつ紹介することで、影の性質や影絵で表現する面白さを伝えます。 ○昔ながらの手影絵やかかし座オリジナルの手影絵を演じてみせ、その作り方を紹介します。 【F全員参加シーン】 ～歌・踊りの練習～ ○「Dr.Shadowの歌」の歌と踊りを練習し、公演作品に対する期待と参加への意欲を持たせます。 ※以下チームに分かれてのワークショップ 【A「玉人形」チーム】 ～玉人形の製作とショーの構成～ ○上演児童は中～高学年10名程度。(4年生以上が望ましい。) ○身近な素材(スポンジボール)でも影絵人形を作り、影絵ごっこができることを学び、劇団員の指導の下、自分オリジナルの玉人形を作ります。そして玉人形の動かし方を習い、ショーの構成(演技)を考えます。 ○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。 【B Hand Shadow Show(手影絵ショー)チーム】 ～手影絵の学習とショーの構成～ ○上演児童は高学年10名程度。(5年生以上が望ましい。) ○代表的な手影絵数種類を学んだ後、その組み合わせによる音楽にのせた楽しいショーを製作し、練習します。 ○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。 【C台詞(シェト応援隊)チーム】 ～台詞の練習～ ○共演児童は低～高学年10名程度。 ○影絵劇「シェトの冒険」の中で、シェトを応援する仲間として、語る台詞を習い、練習します。 ○公演当日は午前中に簡単な確認のリハーサルを行ない、午後の公演では台詞で共演します。 【D合唱チーム】 ～劇中歌の練習～ ○Cチーム・Eチームに劇中の歌を振り分けて練習を行います。 【E 妖精チーム】 ～台詞と踊りの練習～ ○共演児童は高学年の女子10名程度。 ○影絵劇「シェトの冒険」の登場人物である妖精の、台詞と踊りを習い練習します。 ○公演当日は午前中にリハーサルを行ない、午後の公演で共演します。 ※それぞれの参加人数や内容については、学校のご希望に合わせて検討、調整します。 Fは全員参加では無く、出演参加児童のみでも可能です。	

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社 劇団かかし座	】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	A. 玉人形ショーの上演 事前ワークショップで製作し構成を考えた玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。 ([共演者の学年・人数]中～高学年4～10人程度 ※偶数が望ましい 当日リハーサルあり) 玉人形でショーを上演しよう 俳優の紹介を受けてステージに上がり、事前ワークショップで取り組んだ玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。 ポイント 光源に対し玉人形の向きを調整することによって、横顔がきれいに映ります。ショーの振り付けを自分たちで考え、オリジナルの楽しいショーを作りましょう。 			

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態		B. Hand Shadow Show上演 (Part2) 事前ワークショップで学び取り組んだ手影絵によるショーを、上演します。 ([共演者の学年・人数]高学年10人程度 当日リハーサル有り) 手影絵ショーを上演しよう 劇団員の紹介を受け、ワークショップで取り組んだミニ手影絵ショーを音楽にのせて上演します。 ポイント 手影絵は光源に対し組んだ手の向きを調整することによって、その動物に見えます。また頭の影がスクリーンに映ってはいけません。手の向きや頭の影に気をつけながら映しましょう。 手や身体を組み合わせた陰で、動物などの様々な形を作り出します。

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	C. 台詞(シエト応援隊)での共演 (Part3) 事前ワークショップで学んだ台詞を、公演で俳優と共に語ります。 ([共演者の学年・人数]中～高学年10人程度 当日簡単なリハーサル有り) 台詞と歌とダンスでの参加 物語の各場面において、シエトを始めとする登場人物たち(俳優)のきっかけに合わせて、物語のキーとなる台詞を語り、歌を歌い、ダンスを踊ります。 ポイント 台詞で参加する児童の皆さんは、シエトの仲間であり応援隊です。台詞と歌とダンスでシエトを励まし、導き、物語を進行させましょう。 大変多くの台詞や歌、ダンスを覚えなくてははいけません。チーム全員で語る台詞・歌・ダンスなので、しっかり覚えて、大きな声で語り・歌い・踊りましょう。 	

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社 劇団かかし座	】	
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	D. 合唱での共演 (Part3) 事前ワークショップで学んだ劇中の歌を、公演で俳優とともに歌います。 (Cチーム・Eチームに劇中の歌を振り分けます。 当日簡単なリハーサル有り) 合唱での参加昔から伝わる村の歌 (グレングラスタの歌) を一緒に歌います。 ポイント 物語を歌で伝えると同時に、シエトに勇気と元気を与えられるよう、しっかり歌いましょう。				合
					

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	E. 妖精たち(台詞と踊り)による共演 事前ワークショップで練習した台詞と踊りで公演に参加します。簡単な衣装を身につけます。 ([共演者の学年・人数]高学年・女子 4～10人 当日リハーサル有り) 台詞とダンスでの参加 妖精たち(子どもたち)はドラゴンを目覚めさせる為、舞台に現れて、妖精と一緒にきっかけに合わせて台詞を語り、ダンスを踊ります。 ポイント 妖精チームは台詞と踊りなど演技で共演します。妖精を始め俳優とのチームワークも大切です。 台詞のきっかけや踊りの動きやタイミングなどをしっかり覚えて、楽しく演じましょう。 	

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社 劇団かかし座	】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	F. エンディングでの全員参加 (Part3) 事前ワークショップで学んだ劇中の歌を、公演で俳優とともに歌って踊ります。 (客席で全員参加。当日簡単なリハーサル有り・出演児童のみ参加でも可能) エンディング 鑑賞していた児童全員が俳優たちと一緒に『Dr.Shadowの歌』に合わせて歌とダンスで参加します。 子どもたちはその場に立ち上がり、各々元気一杯に、歌い、踊ってエンディングを向かいます。 ポイント 最後は児童全員が参加し、合唱、ダンスに参加して大団円に向かいます。 低学年でも簡単に覚えられる歌とダンスですので、楽しく覚えて、充実した体験になるようお芝居を盛り上げましょう。			
				

リンク先	No.1	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=gTVbUF0czVQ&list=PLC0MGJlv2tX-iCqyocJka1lgq0JNOyViS&index=14&t=0s	

Wonder

Shadow

Labo

ワンダー シャドウ ラボ

脚本・構成・演出：後藤圭

「シェトの冒険」 台本：若林一郎

音楽：石川洋光

なにをして遊ぼう！
光で遊ぼう！

“影のスペシャリスト” 劇団かかし座がおくる、
ふしぎな シャドウ・エンターテインメント！！

「シェトの冒険」
～ドラゴンの山へ～

なにをして遊ぼう！
影で遊ぼう！



劇団 **かかし座**

Shadow Play Theatre KAKASHIZA

Wonder Shadow Labo

Part 3

博士が突然言いだします。「さあ、お芝居ごっこだ！おもしろいぞ！」
Adventure of the Shadow Land

シェトの冒険 ～ドラゴンの山へ～

私たちのグレングラスタ
水清く緑あふれるグレングラスタ
空にはドラゴンがはばたき……
とおい、とおいどこかの国で、雨が降らずに困って
いる村があった。そこには、なんどかして村人の役に
立つとするとする勇者ある少年がいた。名前はシェト。
シェトは村の古くからの言い伝えを信じ、雨を降ら
せるドラゴンを探し旅に出る。しかしその旅は困難
の連続で……。
一体、博士と Dr. シャドウたちはどんなお話を作る
のでしょうか？

Part 1

Dr. シャドウの影絵ラボ

ちよっとたよりない博士と Dr. シャドウたちが、
秘密の実験室で繰り広げる、楽しい影絵実験ショー！
ボールやハンカチ、積み木からふしぎな影がつぎからつぎに現れる！
みんながやってみたくなるワクワクドキドキの実験ショーです。

Part 2

Hand Shadow Show と ワークショップ

手と体だけでいろいろな動物の影を紡ぎ出してみせる、
劇団がかかし座得意の Hand Shadow Show !
世界中のフェスティバルや TV 番組でも大人気のパフォーマンスです。
手影絵ショーでびっくりにした後は、
みんなにチャレンジしてもらおう参加型ワークショップ。
その時の観客年齢層に合わせてワークショップをご用意します。

Program

Part 1 Dr. シャドウの影絵ラボ

Part 2 Hand Shadow Show と ワークショップ

Part 3 Adventure of the Shadow Land

シェトの冒険 ～ドラゴンの山へ～

影に驚き、影に親しみ、共に楽しむ！

「驚き、親しみ、楽しむ！」これが「Wonder Shadow Labo」です。
かかし座が培ってきた影絵の技術をさらに発展させて、
遊び心もふんだんに盛り込んだ作品です。
このステージさながらに毎日実験を繰り返して、
影の不思議さや面白さを再確認しながら作りました。
Part 1 から Part 3 まで、私たちの創意と工夫がいっぱいです。
この作品が、子どもたちの心の中で夢の種を大きく育てる雨のような存在になれるよう、
私たちは努力を続けてまいります。



【作品仕様】

上演時間 1時間20分(休憩なし)

会場条件 体育館などのフリースペース

通常の舞台機構を有する会場(中ホール程度)

仕込時間 3時間程度(会場条件による)

撤収時間 1時間30分程度

※配役は予告なく変更することがございます。

演出家プロフィール

後藤 圭

劇団かかし座代表。玉川大学芸術学部講師。

影絵劇という日本の伝統的イリュージョンを現代の総合エンターテインメントとして確立し、全国に発信し続けている。

TV放送用影絵映画、影絵劇などの作品は多数。

劇団活動のほか、各地市民活動の指導者育成に携わり、本拠地・横浜市においても舞台芸術の普及活動を精力的に行っている。

近著に「子どもに伝えたい伝承遊び 影絵」(文溪堂)など。

受賞歴

児童福祉文化賞・推薦作品

「宝島」(2013)、「魔法つかいのおとぎばなし」(2012) 他

厚生労働省社会保険審議会・特別推薦児童福祉文化財

「宝島」(2012)、「魔法つかいのおとぎばなし」(2011)

厚生労働省社会保険審議会・推薦児童福祉文化財

「三枚のおふだ」(2009)「長靴をはいたねこ」(2008)をはじめ、作品多数

東京都優秀児童演劇選定・優秀賞

「ジャングルブック」(2001)

これまでの映像作品(TVシリーズ等)

創立当初はNHK専属劇団として活躍。連続シルエット番組等を次々放映。

「おとぎの部屋」「みんなのうた」「おかあさんといっしょ」シリーズ等多数出演。

「きかんしゃやえもん」「パンをふんだ娘」等は現在も再放送されている。

その他

・「影絵むかし話」シリーズ他 TBS(1977~80)

・「やまなし」光村・アポロライブラリー(1989)

書籍・DVD(かかし座オリジナル)

ベストフィールド社「かげ絵 イソップ物語 HDリマスター版」(2017)

文溪堂「子どもに伝えたい伝承遊び 影絵」(2012)

PHP研究所「子どもに人気!「手ぐみ」あそび」(2011)

日本コロムビア「かかし座の手がけえ ひろみちお兄さんとやってみよう」

DVD(2010)

PHP研究所「手で遊ぶ おもしろ影絵ブック」(2005)

主な出演・指導

TV

NHK「おかあさんといっしょ 冬の特集」(2017/12/21~23)

テレビ東京「ポケモンの家あつまる?」(2017/7/30)

テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」(2016/2/5)

テレビ東京「モヤモヤさまぁ〜ず」(2016/1/31)

日本テレビ「ネプ&イモトの世界番付」(2014/1/17, 2016/1/29)

NHK「デザイン あ」(2014/4/5, 4/19)

NHK「みんなのうた・ゆらゆら」(2012/6~7)

テレビ朝日「報道ステーション」天気予報映像(2012/6/25)

日本テレビ「24時間テレビ32」(2009/8/30) 他、出演多数

ミュージックビデオ

MILLEA「星の詩」(2016)

ザ・クロマニヨンズ「飛び乗れ!! ボニー!!」(2011)

コブクロ「雷(つばみ)」(2007)

RIP SLYME「GALAXY」(2004)

その他

花王スマイルチャレンジ Webコンテンツ特別動画(2015-2016)

SEKAI NO OWARI ライブ「炎と森のフェスティバル」

「花鳥風月」背景映像(2013)

高島屋「2010 Takashimaya Christmas」プロモーション(2010)

CDP10(通称:国連地球生きもの会議)開会式

オープニング映像(2010/10/18)

YUKI concert tour 2010 "うれしくて抱き合うよ"

オープニング映像(2010/7~2010/9)

特別公演

よみうりランド「光と影のアートマッピング2 ランタン妖精たちのクリスマス物語」(2017)

よみうりランド「光と影のアートマッピング Shadow Halloween Night」(2017)

NHK名古屋放送局イベント〜言葉と音楽で彩る〜新美南吉の世界

「言葉で巡る お話いろいろ」(2013・愛知県)

下呂温泉合掌村・しらさぎ座 委託定期公演(2008~2017・岐阜県下呂市)

海外招聘公演

ユニマ世界大会・国際人形劇フェスティバル(2016・スペイン)

ソウルアートセンター/Asian Culture Center, ACC Children(2015・韓国)

第25回 マカオ芸術祭(2014・マカオ)

SESI Bonecos 国際人形劇フェスティバル(2012~2014, 2016・ブラジル)

クラス国際児童演劇フェスティバル(2011・フィンランド)

シュベビッシュ・グミュント国際影絵劇フェスティバル(2009・ドイツ)

その他、ドイツ、オランダ、チェコ、韓国、中国の国際フェスティバルに招聘・出演

STAFF

脚本・構成・演出:後藤 圭

「シェットの冒険」台本:若林一郎

音楽:石川洋光

舞台美術:齋藤浩樹

衣裳:中矢恵子

振付:楠原竜也

舞台監督:杉村向陽/高橋信濃(Mars A Sol)

音響:山北史郎(山北舞台音響)

照明:坂本義美(龍前舞台照明研究所)

舞台装置:イトウ舞台工房

影絵

影絵美術監修:後藤 圭

影絵美術・人形美術・映像:

劇団かかし座美術部

小田純治(design Bee)

小島直子

どうたいよう

影絵美術人形製作:劇団かかし座

制作:劇団かかし座企画営業部



劇団 かかし座

Shadow Play Theatre KAKASHIZA

劇団かかし座は、日本初の現代影絵専門劇団として1952年に創立。人々の心を無限の想像へ駆り立てる影絵の世界の魅力を、他に類のない総合エンターテインメントとして発信中。舞台はもちろん、TV・映像・出版・イベント等、多岐に渡り活動しています。

〒224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1

フリーダイヤル 0120-088-111

Tel: 045-592-8111 / Fax: 045-592-8458

E-mail info@kakashiza.co.jp

HP www.kakashiza.co.jp

Twitter @KAKASHIZA_jp

Facebook facebook.com/KAKASHIZA

YouTube

劇団かかし座チャンネル



動画をご覧いただけます

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B18	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団かかし座				制作団体名	有限会社 劇団かかし座			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件	昼食を取るための部屋を希望				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン	2台			不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			バン2台(車長5.4m 幅1.9m 高さ2.3m)				可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可
	搬入経路の最低条件			階段のない経路・雨の場合は屋根のある経路				可
	理由			重い機材や水に濡れると故障する機材があるため				
	設置階の制限 *			問わない				可
	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m	高さ	2m		可	
WSについて	参加可能人数	40~50名程度(それ以上の参加希望の場合は検討・調整します)					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	なし			可	
	所要時間の目安 単位:分	100分程度					可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		フロアの広さによるが450名程度は可能					可
	舞台設置場所 *		フロア(体育館の舞台上は設置不可)					不可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	15m	奥行	9m	高さ	6m	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			可
		舞台袖スペースの条件 *			着替える空間があれば良い			可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	影絵なので完全遮光を望む			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	ステージ上にある場合は移動不要			可
		ピアノの事前調律 *		不要			可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の最低必要容量は60A(照明を一部カットする可能性あり)			可	
	その他特記事項							応相談
文化ホール公演の場合は舞台間口11m×奥行き8m×プロセ高5.5m以上							可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

